

第11回

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」 企業研修のご案内

少子高齢化や人口減少、グローバル化など外部環境の変化を受けて、組織の中の人材や、コミュニケーションのあり方が多様化しています。こうしたダイバーシティ(多様性)にどう向き合い、どう活かしていくかが企業の競争力を左右します。

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」企業研修は、多様な人材の力を引き出すための意識・姿勢を身につける、参加・体験・実践型の研修プログラムです。多様な参加者とともに行われるキャンプイベント「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」の場を活用し、参加者どうしの協働やコミュニケーション体験を通じて、ダイバーシティ(多様性)を成果につなげる意識・姿勢を身につけます。

ダイバーシティへの対応は重要な経営課題に！

企業で働く人材の多様化が進み、組織・チームの運営について様々な課題が生じています。その中で、どのようにコミュニケーションを図り、働きかけていくかが組織・チームの成果を左右します。

- 男性が多い職場だが、女性社員がもっと活躍する機会をつくりたい…
- 育児や介護で時短勤務する社員が、限られた時間でも成果を出せるようにしたい…
- シニア社員にはこれまでと異なるポジション・役割で豊富な経験を活かしてほしい…
- 外国人のプロジェクトメンバーと、言葉の壁や価値観の違いを越えて一緒にプロジェクトを成功させたい…
- 聴覚や視覚に障がいのある社員ときちんとコミュニケーションをとりたい…
- 契約社員、派遣社員、パート、アルバイトなど働き方も様々。彼らのモチベーションも高めていきたい…
- 年上の部下や年下の上司ともスムーズに仕事を進めたい…

ダイバーシティを成果につなげるには

特性や考え方の異なる多様なメンバーとの協働においては、強引にメンバーを率いていくことが難しくなります。そのため、これからのダイバーシティの時代に成果を出し続けるためには、「先頭に立ち周囲を引っ張る」という従来型のリーダーシップではなく、一人ひとりの違い・価値をしっかりと理解し、その能力の発揮を支える支援型リーダーシップが必要となります。

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」企業研修の特長

当研修は、「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」の場を活かしたキャンプ研修と、その事前・事後の研修で構成されています。ダイバーシティを成果につなげる支援型リーダーシップを身につける上で、他の研修プログラムにない以下の特長があります。

参加者の多様性

ユニバーサルキャンプには毎年総勢100名以上の人々が参加します。参加者は業種・職種の異なる社会人・企業人や、学生、主婦、外国人、障がい者など多様で、年齢層も子どもから70歳代まで幅広く、ダイバーシティを実感できる環境になっています。

超実践型のプログラム

聞いて帰るだけの研修ではなく、多様なキャンプ参加者の中で実際にリーダーとして行動し、支援型リーダーシップを実践する機会を持てます。キャンプでの様々な協働・コミュニケーション体験から、多くの気づきを得ることができます。

研修概要

研修日程・場所

事前研修

- 2015年8月31日(月)
9:00～17:30(予定)
- 国立オリンピック記念青少年総合センター
※事前研修だけを単独で受講することも可能です。

キャンプ研修

- 2015年9月12日(土)～14日(月)
- 八丈島
※キャンプ中止の場合は9月27日(日)に代替研修を実施します。
(於：東京マスタ学院)

事後研修

- 2015年10月2日(金)
9:00～17:00(予定)
- 国立オリンピック記念青少年総合センター

研修費用

120,000円(税込)

- ※研修費には、交通費は含まれません。
会場までの交通費は、別途ご負担ください。
※事前研修のみ受講プランは、30,000円(税込)です。

対象

- 多様な人材の力を引き出して組織の力を高めたい
経営者、管理職・幹部社員
- 社内外の多様な関係者との協働で成果を高めたい
プロジェクトリーダー、次世代リーダー
- その他、多様なメンバーの中で、ともに成果を生み出すための働きかけ方を身につけたい全ての方

研修参加実績

(株)アイエスエフネット、岩瀬薬品(株)、(有)エイ・エル・ピー、NTTクラリティ(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、(株)岡村製作所、コクヨ(株)、サポートワン(株)、三昌商事(株)、三友プラントサービス(株)、(株)スリーマインド、(株)スリーライト、(株)ゼネラルパートナーズ、ソニー(株)、大日本印刷(株)、(株)丹青社、(株)デンソー、(株)電通イベントオペレーションズ、(株)電通テック、東海エレクトロニクス(株)、東京地下鉄(株)、日産自動車(株)、(株)日本能率協会マネジメントセンター、(株)乃村工芸社、パナソニック電工(株)、東日本トランスポートテック(株)、富士ゼロックス(株)、富士通(株)、富士通デザイン(株)、松下電器産業(株)、三菱電機(株)、(株)UDジャパン、(株)リパック、早稲田システム開発(株)
(五十音順、企業名は参加当時のものです。)

研修プログラム

「学習」「実践」「内省」のサイクルで継続的な実践へ

事前研修、キャンプ研修、事後研修を通して「学習」「実践」「内省」という成長のサイクルを繰り返し回します。特に内省のプロセスを重視し、実践からの気づきを促す機会を十分に用意しています。

知識やテクニックの習得を目的とした研修と異なり、多様な参加者と関わる中で得た気づきは、意識レベルでの変化と成長を促し、様々な状況で応用できる実践的な力を身につけることができます。



事前研修

ダイバーシティについての基本的な考え方、多様な人材の力を引き出す支援型リーダーシップの考え方を講義とワークショップで学びます。また、多様な講師陣との対話プログラムにより、ダイバーシティの具体的な事例に触れ理解を深めます。キャンプ研修での実践、学びをより充実させるための準備プロセスでもあります。

講義「ダイバーシティの理解と受容」「支援型リーダーシップ」
コミュニケーション実習「ルーム・オブ・ダイバーシティ」
キャンプ研修での目標、アクションプランの設定
振り返り（気づきの共有）



キャンプ研修

八丈島での2泊3日のキャンプで、事前研修での学びを活かし、自ら定めたアクションプランを実践します。多様な参加者と様々なプログラムを共に体験し、またグループ活動ではリーダーとなりグループをまとめていきます。キャンプ中も振り返りの機会を設け、学習、実践、内省の成長サイクルを高速で回す濃密な3日間です。

ダイバーシティ・コミュニケーション
各種体験プログラム

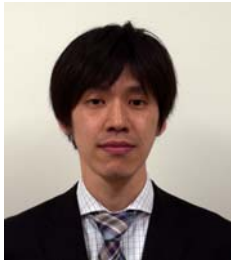


事後研修

事前研修、キャンプ研修を通じて得た気づきを出し合い、他者の視点を共有することで学びを深めます。また研修の集大成として、キャンプでの体験、気づきをこれからの実務に活かすためのワークショップを行います。

キャンプ振り返り（気づきの共有）
ダイバーシティに関するケーススタディ演習
コミュニケーション・アクティビティ
体験を仕事に活かすワークショップ





参加者
森 藤貴さん

大日本印刷株式会社
包装事業部 開発本部 開発第2部
各種商品パッケージや充填システムの企画・開発を担当。

ユニバーサルキャンプでは、まったく異なる業種・業界で働く人や、耳の聞こえない人、車いすの人など、普段接することのない多様なメンバーと同じ班になりました。それぞれ得意なこと不得意なことが全く違うため、リーダーとしてまとめていく上で、まず相手をよく知る必要性を実感しました。また、参加者の中に、肢体に障がいがあることが見た目では全く分からない方もおり、「コミュニケーションをとって初めてその人の本質が見えてくる」という点が、自分の中で大きな気づきになりました。

パッケージづくりの仕事には、顧客はもちろん、社内でも営業、開発、工場等、様々なメンバーが関わります。一人ひとり立場や考え方、仕事の進め方に違いがありますが、キャンプでのリーダー体験を経て、その人がどういう人なのか知ると、今まで以上にコミュニケーションを意識するようになりました。最近の後輩を指導する機会も増え、何をどこまで任せればいいのか悩ましい時もありますが、ここでも後輩の個性をよく見て、成長を促せるよう心がけています。体験を通して学んだ支援型リーダーシップが、仕事の中で生きていくと感じています。



派遣責任者
高橋 直樹さん

大日本印刷株式会社
包装事業部 企画本部 リサーチ&プランニング戦略室 室長

当社は、生活者に受け入れられる商品づくりを顧客と一緒に進めています。価値ある商品を生み出すためには、生活者の動向をしっかりと把握し、多様な生活者に細やかに配慮したもののづくりが必要です。そうした仕事は、一人では絶対に成り立ちません。組織のタテもヨコもしっかり連携し、チームワークを発揮することが非常に重要になります。そこで大事にしたいのは、「対話する」ということです。これは簡単なようで意外と難しいものです。ちょっとしたやり取りの欠落が大きなトラブルにつながることもあります。話にくい事こそ、話にくい人こそ、対話が必要になります。

「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」企業研修は、普段接することの少ない多様な人々と対話する絶好のチャンスです。自らの働き方や人との関わり方、コミュニケーションのとり方を振り返り、意識を変え、行動を変える良いきっかけになると思います。ここから、対話を促し、仕事の価値を高められるリーダーが育つことを期待しています。

大日本印刷株式会社

企業プロフィール

設立1894年。印刷技術と情報技術で「未来のあたりまえを作る。」総合印刷会社。出版印刷・商業印刷からパッケージ、建材、ディスプレイ製品、電子デバイスまで、幅広い分野で多様な製品・サービスを提供している。



参加者
吉井 ちよさん

株式会社丹青社
ストアエンジニアリング事業部 第2PM統括部
営業職として多店舗展開する飲食店の内装設計・施工を担当。

私は2012年にこの研修に参加しましたが、そこでの気づきがその後の仕事に生きていくと実感しています。

建設・内装業界では女性はまだまだ少数派であり、女性であることをネガティブに捉える場面もあります。私自身、あるプロジェクトのリーダーを務めていますが、以前はリーダーとして自信をもてない感覚があり、右往左往していました。しかし、ユニバーサルキャンプで多様な参加者と接し、支援型リーダーの役割を実践する中で、それぞれの違いをその人の個性として前向きに捉え、自分自身についても「できないこと」を素直に受け入れ、メンバーの能力が発揮されるように、自分なりのやり方でチームをまとめられればよいと考えるようになりました。私が担当するプロジェクトのメンバーは、自分より経験豊富なベテラン社員、役職が上の社員、新入社員など様々です。外国人のメンバーもいます。ただ相手が誰であろうと、今はフラットに接し、気負わず自然体で仕事に臨んでいます。

この研修の効果は、何か具体的な知識やスキルが身につくことではなく、もっと根本的な部分での意識の変化だと思います。その変化があったからこそ、プロジェクトを以前よりスムーズに推進できるようになったと思います。



派遣責任者
森下 是さん

株式会社丹青社
ストアエンジニアリング事業部 第2PM統括部 統括部長

多くの企業で人材の多様化が進んでいますが、今の働き方は「若い元気な男性」を前提としている部分があるのではないのでしょうか。当社も同様で、社内プロジェクトメンバーには外国籍のメンバーもいますし、女性社員やシニア社員、育児・介護をする社員も増えつつありますが、こうした変化にまだ十分対応できていないと思います。今後は、多様な社員が継続して力を発揮できるように、働き方自体を変えていかなくてはなりません。一人ひとりをよく理解し、それぞれの力を引き出す、まさに支援型リーダーが必要になっていると思います。

ユニバーサルキャンプは、非日常的な空間で、多様な人々との新しい関係性の中で支援型リーダーシップを実践できる機会として、非常に有意義であると思います。自分にはないものを持っている人と関わり、相手の立場に立って考える経験が、組織を変えていくリーダーには必要です。キャンプを経験した吉井のリーダーとしての動きには、今まで当社になかった細やかさや気遣いが見られます。彼女には、新しい働き方や職場の仕組みを切り拓いていく役割も期待しています。

株式会社丹青社

企業プロフィール

設立1959年。「空間づくりのプロフェッショナル」として、商業空間や文化空間、イベント空間等々の企画、デザイン・設計、制作・施工、運営等を行う。

※企業名・所属等は参加当時のものです。

■お問合せ・お申込みは、ウェブサイトからお願いします。

URL <http://u-event.jp/site/uc2015k.html>

ユニバーサルキャンプ参加申込事務局

東京都千代田区内幸町1丁目5番3号新幸橋ビル8F
(株) 電通イベントオペレーションズ オフィス内

TEL 03-6206-6342 FAX 03-6206-6311 E-mail unicamp@dentsu-eo.co.jp

NPOユニバーサルイベント協会は、誰もが安全、安心、快適に楽しく参加できるユニバーサルイベントを、多様な能力や特性をもったメンバーと一緒に企画・運営しているNPOです。ユニバーサルイベントの企画・運営や、企業向けの体験型ワークショップ研修を通じて、誰もが力を発揮し、いきいきとした生活を送ることができる社会づくりに貢献しています。